

阪神地方の保育界を見る

和田 實

大阪神戸地方の保育界が從來盛んな活動をして居ることは兼ねて人の噂新聞の報告扱ては保育會雜誌等で度々聞いては居つたけれど親しく實見するの機會を得て大に事實を確めて研究上多大の利益を得たのは恥しなから今回が始めていあつた惜しいことには參觀の時日が僅々三日間で而も最後の三日目は天長節に當つたので保育の實際を見ることの出来たのは唯二日間に過ぎなかつたのは如何にも残念であつたが何にせよ命令に限りがあるの
 で止むを得ぬ。

そこで此三日間の參觀の大體をまだ御覽にならぬ讀者に御紹介申さうかと思ふのである、勿論概括的結論的のことはよすこととして茲には單に見たままを見て廻はつた順序に且手帳に書き止めた順序通りに唯まともにもなく記述して見やうと思ふ

のである。其御積りで前後反復等の煩はしきことは暫く御辛棒を願ひます。先づ最初に見たのは大阪女子師範の附屬幼稚園で小學校の門を入つて校舎と塙との間の通路らしからぬ所を通つて行く幼稚園の子供の昇降口に出る一棟の長い建物の中に保母室、恩物、標本室と保育室が三つとあり。別々に大層廣き遊戯室が此建物と直角を爲して建られて居る先づ保母室標本室にある、いろいろのもの
 を拜見した流石に永く同地方の保育界に貢獻した彼の氏原蝶氏の居られた所として恩物集蒐及其整理上に多大の苦心を拂はれた跡が歴々と残つて居るいろいろときれいな小石や藤豆、桐の實、護謨の木の實などを手技や手工の材料とした所は後の御津や江戸堀の幼稚園で拜見したことであるが誠に能く心掛けられたものである。畫方には繪の具をも使はして居られるそうで筆其他の備品があつた子供
 の成績を見ると中々きれいに塗られて居る。保育室など見ると廻はつて最後に大きい子供部屋に入ると十二三の大きな女の子が頻りと窓の硝子をふいて居つた何ものかと思つたら小學校の子供がま

だ始業には間があると云ふので態々遣つて来て掃除の手傳をして居るのださうだ。都會には珍らしき優しき少女の振舞頗る美しき感を與へた。遊園へ出ると百何十坪かの廣場の三方には若木が植ゑられ保育室に寄つた方には通して一列の花壇が出來て居つた忙しい附屬幼稚園の仕事としては盆栽なども相當に出來て居る様であつた。片隅の所には小鳥小屋がある六角形をした金網張り硝子戸付で階下には兔が任んで居る。又天井裏には鳩が住んで居るのださうであるが近頃は此鳩男子師範の鳩の所へ泊り掛けでお遊びとしゃやれて居るさうである。此小屋は場所もとらないで至極面白いものと思つた。遊園の中央には小山や空池があつて風致ある眺めが出來て居つた山全體は芝が能く生へて子供の遊びには誠に能ささうである。女の子は其處此處に箆を敷いて二三人づゝ遊んで居つた。軽い疊表なので子供一人で自由に始末すること出來て面白さうであつた。又木馬とシーソーとが一方の方に設けられてある。遊戯室に入ると輕便ブランコとポート形シーソーとが片隅にあつた

頓がて朝の會集が始まつて桃太郎其他二三の遊戯を拜見した。遊戯には別段變つた様子もないが動作にはそこゝに多少の差違がある。唱歌は一體に御茶の水の幼稚園のに比べると少し緩かである是が濟むとまた暫は自由遊になる。遊戯室を出るとき子供は一々先生にお辭儀をして居つたが是は怎う云ふ譯であるのかつい聞いて見るのを忘れて仕舞つた。夫からまた室に入つて宇良川主任からいろ／＼保育上のお話を伺ひ保育細目を拜見し幼児の成績物を一覽し細目の一部と畫方成績物とを頂戴した。幼児の手工の中に繡縫に能く似たもので糸掛と云ふのを行つて居つた。關東では餘り見掛けないものではあるがやさしくもあり面白くもあつて至極宜しい様に思つた。其仕方は少し厚い臺紙の周圍から敷個のはさみを入れて置き此切口に毛糸其他の色糸を通し掛けるので譯もなく出來て而も一寸縫取の様に見える面白いものである。其外の手技手工は別段變つたこともない様であるから此處をば辭して次には同じ南區中の御津幼稚園を訪問した。見るからに狹苦しき感じのする大

阪の町中を通つて御津幼稚園の門を入ると數十坪位の思はる玄關前の小砂利敷の庭が此園の幼兒の遊園なので、而も此中に風致ある眺めの爲の池や小高き處や樹木などが少し邪魔に感ずる位にあつたには、少なからず驚かされた。然し考へて見れば無理もないので、土一升金一升の大坂としては當然のことである。見れば兎モルモット等の動物も能く飼養され、窓には盆栽棚が出来て居る。數百の盆栽が皆頗る能く世話されて居つた。其上に空閒迄が利用されて軒には釣した鉢物が大部見えた中庭の様な數坪の場所は花壇になつて居つたが是も中々能く世話が出来て居る。後にて思へば此園と後の江戸堀幼稚園とは自分が今回見た所の中で最も成功したる自然物輸入者であつた。頗る遊戯室で遊戯が始まつた數種の遊戯の後で相撲があつた。土俵には厚き半圓形の藁蒲團を二枚合せて其周圍にそば殻入の大枕を圓形に並べて急造土俵にするので至極甘く考へたものである。そして其また仕方が頗る面白い。先赤組白組の双方より二人のものが指名されると各赤又は白の襷を肩よ

り掛けて双方の組の章として出て来て土俵の上に構へる。すると全體の見物者が一二三と掛聲をす。此掛聲で双方が立ち合ふのである。そして一方が勝つた度に保母の合圖で萬歳を唱へる。此處が一寸間が抜けることがあるが大體頗る面白く拜見した。此外に重い枕大の布俵が出来て居つた。幼兒が重い物を持ちたがる時に用ゆるのだそつた。それから各保育室を一巡して見ると、何れも頑丈な一人掛の椅子が清潔な春慶塗で出来て居つた。見ると机の兩側に狀挿様のものがある。何かと尋ねて見たら保母と幼兒とで共同に製作した手工成績物の整理器だそつた。室の隅には幼兒の家庭との間に通信する通信簿の紐を付けて肩に掛ける様に出来たのが一括して釣してある。聞けば一般に現在用ゐて居るのだそつた。茲では殊に有効に使用されて居るそうである。次に遊戯室に入つて見ると各柱毎に一冊の繪本が子供の手の届く所に釣してある。何用かと思つたら多くの子供の中には何も遊び様がなくて無聊のものが出来る夫れ等のものゝ爲めに面白き繪本を月々取り換へて出して

置くので雨降りなどには一層多くするのでさうである。向ふの壁に赤の小旗と上の方に観兵式の圖とが掛けてある。是は亦何かと思つたら片隅の赤旗は其前の机の上に出してある積木其他の恩物を今日は赤組に限り自由に使用してよいと云ふ合圖たさうで上の観兵式の圖は天長節の觀念の一部に観兵式なるものゝあることを賤氣に残さうため二三日前から談話の豫備に掛けて置くのださうだ。イヤ何れも能く親切に考へたものである。次に便所を見て一寸考へたものだと思つたのは、排泄口が普通は開き戸に對して横になつて居るのを縦にしたのと、樋箱の陶器を特に注文して並ものよりも一寸ばかり狭くして其上、下部の方は今一層狭くして全體の穴の形が錐形となる様にして幼児が萬一の墜落を防いだのは外には見ぬ考案であつた。手洗場など一寸工夫したものであつた。此外黒板が衝立式であつたことや附添人を幼稚園に置かぬ様に注意して居ることや先生方が朝出勤してから子供の歸る迄決して幼児の傍を離れぬ様に氣を付けて居られる所など何れも我輩の意を得

た行方であつた。幼児は一般に前掛を掛けて清楚な様子で元氣よく遊んで居た。師範の附屬で見た輕便ブランコポット形シーソーは東區一般の幼稚園にある様である。彼是して居る中に時は正午を過ぎたので思はぬ饗應に恐縮しつゝ色々と保育上の談話を交換して急ぎて船場幼稚園に向つた。丁度まだ子供の居る中であつたのは我輩の爲めには能かつたが主任の人が欠けて居るとかで保姆の方々を驚かしたのは御氣の毒であつた。園舎は出來上つた許りなので頗る美麗な大きなものであつた。折から二の組の遊戯があつて汽車、ボート、其他二三の遊戯を見た、廊下は何れも人造石で敷き詰めて且遊園の砂利敷な地面と同一な平面であること、廊下と遊園との間に柱が所々にある外壁の仕切がないと云ふことは前の御津幼稚園と同様である。此後見た他の幼稚園も皆此様な作り方法であつた。つまり遊園の狭いのを補ふ一つの方法と見受けられる併し船場幼稚園のは其幅が九尺もあるのに驚いた。多分雨降の時に都合よいからであらう。多くの子供が狭い砂利敷の遊園のほこり

の中で遊んで居るのは氣の毒に思つた。茲には少し大きい本式のブランコがあつたが、他と一様な砂利敷なので少し危険の感じがした、此他輕便ブランコ、ポート形シーソー、固定圓木などが見えなければ多くの子供の中には爲うことなしに砂利の上で座つてボンヤリして居るものが尠からずあつた。熱心な大阪市の管下にある最近の建物であるといふのは實は樂しみにして見に行つたのだけだ。設備の上には別段苦心の跡もなく中の仕事も欠けて居る位で然したこともなく、痛く失望し、新築紀念の繪はがきを保母の方より贈られた好意に感謝しつゝ、急いで此處をば出で中大兄、汎愛、愛珠の三幼稚園を見た。時間過のことで、保育の實際を見ることは出来なかつたが聞きしに勝る設備の立派な有様を見て驚嘆の眼を見張つた、夫れにしても當局に之を指導する人がなく普及の度が充分に行かず小學校との調和連絡が甘くつかない爲めには是の設備も充分な功績を擧げることが出来なないのは實に遺憾千萬なことであると思つた。以上が視察第一日の状況である。

自然物を材料とせる 子供遊びのいろく

(一) 稻の種蒔
水盤に土と水とを入れ幼児をしてその中に種を蒔かしむ、但し種は始めより三四粒づゝ、一緒にし列を正しく蒔かしむ、稻の生長したる後は其の中に小魚など入るゝも面白かるべし、而してこれは種子の發芽し又實を結ぶ有様をよく觀察する事を得るが故に甚だ有益なり。

(二) 口なしの花
此木を園中に植ゑ花の咲きたる頃には其の花を幼兒にとらしめ其の中央に捧片をさしめ口にて吹けば風車となり水流に入るれば水車となる、其の他小供の考へにまかせて種々の者を作らしめなば興味あるべし。

(三) 蓮華
之れは冬の中に種を蒔き置くなり春に到れば愛らしき花開きて目をたのしましむるのみならず之を摘む事の樂しみは實に深きものなり摘みし花は糸